

## 第5回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

### 特別企画1 概要

企画名	大リーガー医に挑戦：米国型アテンディングカンファレンス
目的	プライマリ・ケア、総合診療の面白さの一つに、様々な症状の患者について、病歴と身体所見を元にして疾患（群）に迫る臨床推論があります。本企画では、大リーガー医を交えたアテンディングカンファレンスを通じて、基本的な臨床推論を英語で学びます。
概要	<p>予め御願している研修医・医学生がパワーポイントを用いて英語で症例を提示します。アテンディング医として George W Meyer 兵庫医科大学特別招聘教授が教育的にセッションを進めます。参加者は、米国教育病院のアテンディングカンファレンスに同席している研修医・医学生と一緒にカンファレンスに参加し、臨床推論の考え方を共有します。</p> <p>できるだけ、米国での臨床研修の雰囲気を感じられるようなカンファレンスにしますが、英語が苦手な人も受け込めるように日本人講師がサポートします。</p> <p>症例数は 2-3 例を想定し、事前に依頼していますが、自分の症例プレゼンテーションを試してみたい、という研修医・医学生がいましたら、若干名なら時間を調整して、プレゼンテーションできるように構成しますので、申込の際に希望を伝えて下さい。</p> <p>診断や治療の難しい患者、希な疾患の発表会ではなく、基本的な疾患を標準的なアプローチで診断し、治療することを教育する米国型アテンディングカンファレンスを目指しています。主に臨床実習中の医学生や初期臨床研修医をターゲットにしていますが、後期研修医も歓迎します。</p> <p>カンファレンスの最後には自由討論の時間も設けますので、将来の留学を考える医学生／初期臨床研修医は積極的に、質問してみてください。</p>